

～人と人とをつなぐ情報機関紙～

人づくりネットワーク

メリーゴーランド



今年も暑い夏がやってきましたね！

2010
SUMMER
Vol.

26

☆今回のつたえたい

みんなが支える 青少年の自立

近年、経済情勢や家庭関係の希薄化により若者が社会的弱者に陥っていると言われ、自立に困難を抱える若者の増加が社会問題となっています。豊橋市におけるニート・ひきこもりなどの現状と、そうした若者を支援する取り組みを紹介します。

青少年の自立を支援して地域の活力に

豊橋市でもニート・ひきこもりなどの若者の問題が深刻化しています

国勢調査から見ると、豊橋市におけるニートの定義に近い若年無業者（35歳未満の不就学・不就労）は、平成12年の2112人をピークに、景気が上向いてきた平成17年でも1027人となっており、近年の経済環境の悪化により、再び増加していることが予想されます。ひきこもりの若者の数は、統計上把握が難しく正確な数は分かっていないのが実状ですが、ひきこもりの方を抱える親の会などに集まる方も増えています。

不登校の子どもに対して卒業後も学び直しや就労の支援が必要です

ニート・ひきこもりを体験した若者を対象に行った豊橋市の調査では、その多くが小・中・高校時代の不登校経験者でした。

不登校の子どもに対し、学校に在籍している間は、さまざまなサポートもありますが、学校を離れると同時に支援も途切れてしまい、そのまま社会的接点を失いニート・ひきこもりになってしまう例も少なくないといわれています。また、不登校を経験しなくても、高校や大学卒業後からニートとなる例も多くあります。豊橋市内の高校での中途退学者は、ここ数年7～9%と推計され、学び直しや就労の支援が必要となっています。

社会全体で青少年を支えることを求める 「子ども・若者育成支援推進法」

国（内閣府）は「子ども・若者育成支援推進法」を平成22年4月1日に施行しました。同法はニート・ひきこもり・不登校などの困難を抱える子ども・若者への総合的支援を推進するもので、家庭的環境の大切さを訴えるとともに、家庭・学校・職域・地域・その他の社会的あらゆる分野の構成員が、各々の役割を果たすとともに、相互に協力することを求めています。豊橋市では、同法による「子ども・若者支援地域協議会」の設置に向け、今年度、内閣府モデル事業を実施し、市民団体や地域の健全育成者とともに支援します。

「地域の宝」青少年の自立をみんなで支えましょう

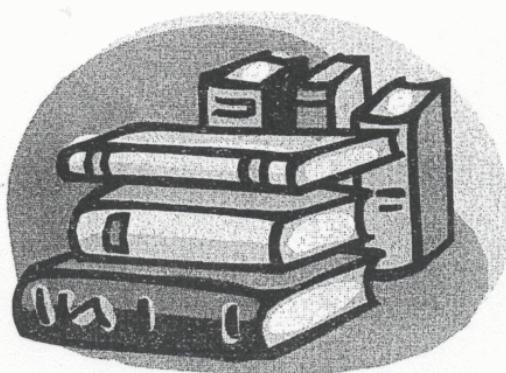
古くから「子どもは地域の宝」とされてきました。近年の雇用・経済情勢の変化により、若者が社会的弱者になっている現在のような時代だからこそ、地域の活力となる青少年の自立をすべての組織や個人が役割や責任を果たしつつ、相互に協力しながら支援していきましょう。

（この記事は、「広報とよはし」平成22年6月1日号から抜粋しました）

この記事に関する問い合わせ先：豊橋市役所青少年課

TEL：0532-51-2855

HP：http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_kyoiku/seishounen/jiritsusien/



メリーゴーランド企画事業

車椅子とともに生きる

5月22日土曜日 田原市田原福祉センターで開催されました。

前号の通信でお知らせしましたが、メリーゴーランドの企画事業として「車椅子とともに生きる」と題して、田原市在住の寺島祥史（よしふみ）さんの講演会と仲間たちによる音楽会が開催されました。

まず初めに寺島さんが、ご自身の体験談を語ってくれました。

寺島さんは17歳のときに交通事故による頸椎損傷で車椅子生活となりました。一時は医師から一生寝たきりになると言われ、ご自身は勿論、家族も絶望感が強まり苦しくつらい毎日を過ごされていました。

そんなある時、ハンドパワーのことを知って、治療を続けるうちに次第と体の機能が少しずつ動くようになり、今では音楽などのボランティア活動を自ら行っており、豊橋の方で仕事もやっております。

事故に遭ってからハンドパワーの治療を行うまでは、全く声が出ない状態でした。しかし、次第に声が出るようになって、仲間の前で歌ったりすることが出来るようになりました。今では豊橋市を中心に音楽活動を行っております。将来はプロの歌手になりたいと考えているようです。

寺島さんご自身の体験談が終わり、寺島さんのお母さんが、事故から今までの状況を話してくれました。「事故に遭ってからつらい日々だったけど、たくさんの仲間たちに支えられて今がある」と仲間への感謝の気持ちを込めて語ってくれました。



その後、寺島さんと寺島さんの音楽仲間2名、合計3名による音楽会を開きました。寺島さんの歌と、ギター、ピアノ演奏で4曲、皆さん前で披露してくれました。寺島さんの力溢れる歌声に、観客の皆さんは、感動と涙が溢っていました。第一部の講演会と音楽会には、約20名の方が参加してくれました。

休憩の後、10名くらいの参加者で寺島さんとの懇親会を行いました。お茶菓子を頂きながら、参加者全体で自己紹介を兼ねて自身の話を順番に話し、その後ざっくばらんに楽しく交流しました。終わりの方では、音楽仲間で2曲ほど再び演奏してくれました。充実した今回の企画事業だったと思います。

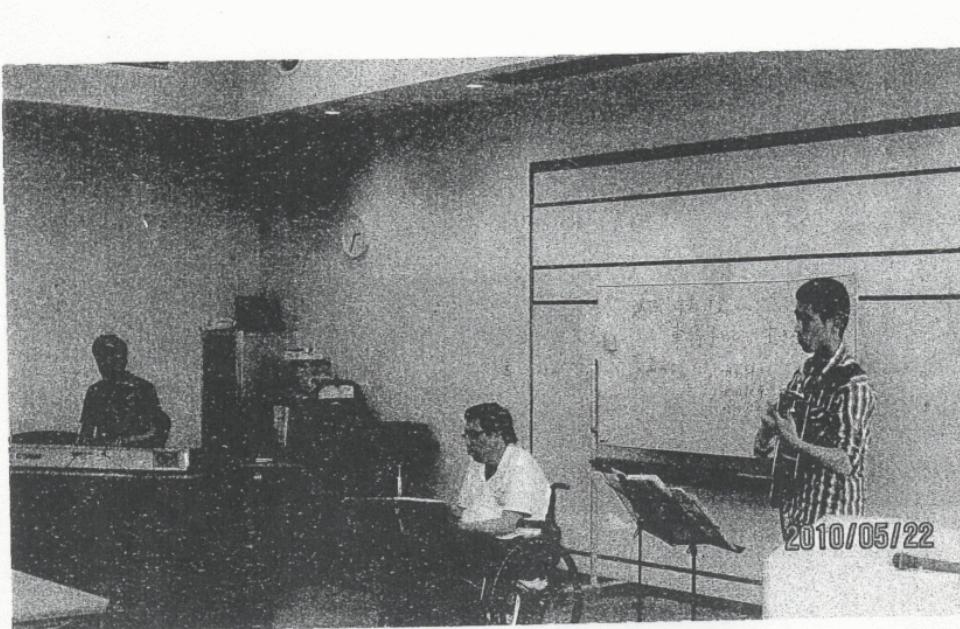
当日は地元のケーブルテレビ「ティーズ」の職員が取材に来てくださいました。この企画事業の模様は数日後に放送されました。

今回この企画事業に参加して頂いた皆さんの感想を、次のページに載せておきましたのでご覧ください。



「車椅子とともに生きる」に参加してくださった方々から感想を頂きました。
(一部を抜粋しました)

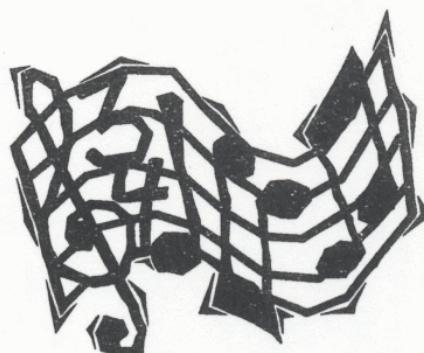
- ◎ 初めて歌を聴き元気を頂きました。これからもたくさんの歌を歌ってください。応援しています。
- ◎ とても素敵でした。初めて聞かせて頂き良かったです。
「エール」とても良かったです。
- ◎ 祥史君の歌に毎回涙します。パワーに出会えたおかげで、こんなにも前向きに頑張っている姿に、私ももっと前向きになろうと思います。
- ◎ とても歌の方の声が素晴らしいで感激しました。よくここまでなれたと感激しました。
- ◎ 大変な体の中、よくここまで立派にやって来て、とても並大抵なことじゃないですよ。今のこの歌、そして寺島さん達3人で頑張ってください。
とても感動でした。涙、涙でいっぱいです。私も頑張ります。また会いましょう。会う日を楽しみにしています。



このメリーゴーランド企画事業の数日後に、寺島さんの仲間である「音楽でつなごう会」が主催して「蓮根サート」という音楽会を豊橋のカフェレストランを借りて行いました。

寺島さん達の音楽仲間のほかに、仲間のご家族や友人等の歌やピアノ演奏などいろんな音楽を交えて訪れた人たちを和ませ、日曜日の午後の一時を楽しませてくれました。また聴いてみたい音楽ばかりでした。

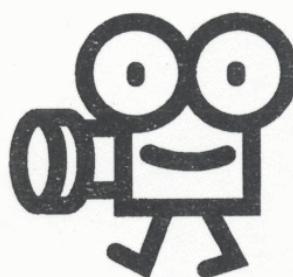
寺島さんは今後もいろんなところで歌い続けることでしょう。今回企画事業に参加できなかった人たちも、近いうちに寺島さんの歌を聞く機会があるといいなと思います。



イベントレポート
映画「西の魔女が死んだ」を観に行きました。

2年ほど前に上映された作品です。この物語は主人公の中学生まいが、中学に入学した後、いじめによる不登校になって、山奥の祖母の下で様々な経験をしながら成長していくものです。

人間にとて避けることができない「死」について深く考えることが出来る映画でした。



情報をお寄せください

この通信は、4・7・10・1月に発行します。伝えたい体験談や、団体・グループなどの活動紹介、イベント開催のお知らせ等がありましたら、世話人まで連絡ください。

ご支援・ご協力をお願いします

この通信作成および活動は皆様方の寄付によって賄われております。年間一口500円以上の活動協力費を直接世話人に渡すかもしくは下記の郵便振込口座に入金してください。また未使用切手500円以上相当分や、リサイクルバザーに出品する物品等も受け付けております。

通信の一部売りは100円の活動協力費になりますのでよろしくお願ひします。

編集後記

5月の企画事業を無事に終えることが出来ました。これも企画事業に関わってくれた皆さん、参加してくれた皆さんのおかげだと思っています。なかなか思うような事業は出来なかつたのですが、当日はいろいろお手伝いして頂いて本当にありがとうございました。

さて、私事になりますが、7月から市が運営する学童保育のスタッフとなりました。地元の小学生を相手に毎日悪戦苦闘になり結構体力の要る仕事です。これから夏休みになるので、かなりハードになりそうです。この暑い夏、乗り切っていけるのかな？（永井和子）

「人と人とをつなぐ情報機関紙 人づくりネットワーク メリーゴーランド」
通巻第26号（年4回発行）

発行■人づくりネットワーク メリーゴーランド
世話人■永井 和子 連絡先■090-1724-6948
Eメール■kazun-1976@tees.jp

☆ 活動協力費の郵便振込先

郵便振替口座 00880-0-95714
加入者名 「人づくりネットワーク メリーゴーランド」
(お一人様何口でも構いません。あなたの気持ち次第です)